

# 地名を歩く

四十四 甲賀



城見通りから甲賀町を見る

「甲賀」は現在の高梁市甲賀町、甲賀町は城見通りと鍛冶町通りを結ぶ東西の小路を中心に南側と北側に町屋が並ぶ行政区域で、近世城下町時代には「甲賀丁」と呼ばれた家中屋敷町でした。南北の豎町型の城下町の中では、北側の荒神丁や南側の八幡丁と同じように、東西の町筋を持つ横町型の町割となっている地区なのです。甲賀丁は元和三年（一六一七）池田備中守長幸が6万5000石で入封してから下級武士の屋敷地として取り立てた町で「元禄七年（一六九四）正月改め」によると甲賀丁長さ一町四二間半、家数一二軒があった（「水谷史」）。「御家内之記」その後の正徳元年（一七一）から延享元年（一七四四）頃の、石川総慶時代の「松山城下絵図」⑤（龜山市立図書館）によると家中屋敷六軒と明屋敷二、長屋一が描かれていますが、また、「延享元年六月調」の「松山御家中屋敷覚」（市立図書館）には甲賀丁一五軒とあり、

内八軒が家中屋敷、梁行（棟と直角の長さ）二間の一棟長屋が七あったと記録されています。この一棟長屋はのちになって間之町になっています。「増補版高梁市史」によると元禄六年（一六九三）の水谷時代、家数一二、世帯数一二、延享元年石川時代、家数九軒、世帯数六とあって（前掲の史料とは少し異なるが）板倉時代の慶応（一八六五〜一八八）頃は、家数八軒、世帯数八となっています。「昔夢二班」には嘉永二〜三年（一八四九〜一八五〇）頃から安政初年（一八五四）頃のものとして、福田江織ほか六軒と南東角の柔術道場をあげていて、真孝流柔術織田奎兵衛や身捨流柔術村田半兵衛・雨森五兵衛など諸流派の師範名があげられ、他藩からの修行者も出入りしていたといわれる武家町だったのです。

甲賀丁は明和五年（一七六八）間之町から出火した火事で一部（二軒）が類焼に遭い、幕末の天保一〇年（一八三九）の大火では町が全焼しています。（「松山御城主厩代記」市立図書館）、また嘉永六年（一八五三）から文久元年（一八六一）にかけて有終館学頭だった進鴻溪が甲賀丁に私塾の静修舎を開いて漢学を教えています（「増補版高梁市史」）。

「甲賀」という地名は、和名抄には「カウカ」と訓の注をつけていて、古くは「こうか」と読んでいたのかもしれませんが。地名の由来として考えられる近江国甲賀郡の甲賀流の忍者（忍術を使いスパイ活動をする者・忍びの者）の里の地名を取って武家町の丁名としたといわれていますが、「甲賀者」といわれる柔術の武士が居たのかもしれない。それとも「伊賀」の地名に對して付けたということも考えられるのです。ともかく幕末には町の一角に柔術道場があった他藩からの修行者も出入りしていた「甲賀丁」だったのです。

（文・松前俊洋さん）

# 図書館だより 7月

## 高梁中央図書館

開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 22912

一般書

### 奇縁まんだら

瀬戸内寂聴:著  
日本経済新聞出版社



生きるとは、人との出会い。奇なる縁の不思議さと幸せ。島崎藤村、正宗白鳥、川端康成、三島由紀夫など、今や歴史上に名をとどめた偉大な作家たちの記憶をつづる。『日本経済新聞』連載をまとめて単行本化。

児童書

### スパイダー屋敷の晩餐会

メアリー・ハウイト:文  
トニー・ディテルリッジ:絵  
文溪堂



「わが家の居間にお立ちよりになりませんかな？」スパイダーがフライにそう言いました…。19世紀から読み継がれている教訓詩を絵本に。子どもたちに、甘い言葉で甘くはないたくらみに誘うものへの注意を呼びかけます。

休館日

毎週木曜日の午後  
7日(月), 14日(月), 20日(日), 21日(月), 28日(月)

## ちいさいここのへや

図書館2階 14:30から

小学校低学年までが対象で参加無料。  
親子での参加も歓迎です。

5日(土)	たなばたまつり (ボランティアグループ『ふきのとう』)
12日(土)	ビデオ「にんぎょひめ」 おはなし会 (ボランティアグループ『おはなしたまてばこ』)
19日(土)	おりがみあそび「ペンギン」
26日(土)	きりがみあそび 「ストローアーチェリー」

## 移動図書館

17日(木)	川上児童館前 備中地域局前	14:15 ~ 15:15 15:45 ~ 16:45
18日(金)	有漢生涯学習センター前 落合雇用促進住宅高梁宿舎前	14:45 ~ 15:30 16:20 ~ 16:50
22日(火)	玉川地域市民センター前 落合地域市民センター前 中国電力社宅前 松原地域市民センター前	11:00 ~ 11:30 13:00 ~ 14:00 14:30 ~ 15:00 15:30 ~ 16:00
25日(金)	巨瀬地域市民センター前 中井地域市民センター前 宇治地域市民センター前 落合中二公会堂前	10:30 ~ 11:00 13:00 ~ 13:30 14:30 ~ 15:00 16:00 ~ 16:30
29日(火)	津川地域市民センター前 高倉地域市民センター前 川面地域市民センター前	11:00 ~ 11:30 13:00 ~ 13:30 14:00 ~ 14:30

## 成羽図書館

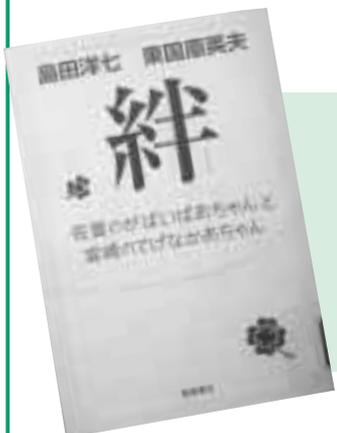
開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 422589

一般書

### 絆 一佐賀のがばいばあちゃんと 宮崎のてげなかあちゃん

島田洋七・東国原英夫:著  
徳間書店



島田洋七と東国原英夫。九州の片田舎で貧しい少年時代を送った二人が、豪快な祖母、母から教わった人生の宝物。いま、日本から失われつつある家族の絆を語り合う。

休館日 毎週月曜日, 26日(土)

## 移動図書館「うぐいす号」

8日(火), 22日(火)

午前 9:00 ~ 12:00	市営星原住宅→ファミリーハウス星原→鶴鳴保育園→市営栄町住宅→雇用促進住宅→黒川商店(日名地区)→枝中央地区→成美保育園
午後 13:00 ~ 16:00	老人ホーム成羽川荘→成羽・山本地区→小泉・東地区→布寄小学校→中野・迫地区→吹屋小学校→向井商店(坂本地区)→田原保育園